

アル・アクサ洪水第745日目：ウィトコフが現地へ向かう中、イスラエル軍、ザイトゥーンで11人家族を殺害

Palestine Chronicle、2025年10月18日



ラファ出身のユーセフ・ザカリヤ・アルヤクービの遺体が、最近の捕虜交換取引で返還された後、埋葬され、悲しみと涙が溢れた。(Photo: Mahmoud Bassam, via QNN)

主要事項

*ハーン・ユニスの東の町アバサン・アル・カビーラの住民に対しイスラエル占領軍の無人機が銃撃し、パレスチナ女性が負傷した。

*アクシオスの報道によれば、スティーヴン・ウィトコフ特使は日曜日に中東へ行き、ガザ停戦とガザ復興合意の実施状況を視察する予定。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエル軍の攻撃の犠牲者は、死者67,967人、負傷者170,179人となり、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月18日 11:01 pm

*パレスチナ・クロニクル：2年間にわたってガザを無慈悲に爆撃した後で、イスラエルが自分たちの爆撃で死亡したイスラエル人質の遺体返還に関してずい難癖をつけて、戦争再開の恫喝をかけている。

10月18日 10:50 pm

*チャンネル12：米国政府筋の発言によると、米国は今後のガザ状況の展開に「深く関与」する。スティーヴン・ウィトコフ特使とジャレッド・クシュナー顧問は、今回の中東訪問で、イスラエル兵捕虜や人質の遺体搜索作業と、ガザへの国

際安定化部隊の設置準備に重点的に取り組む予定。両氏は、遺体捜索活動に、イスラエルが拒否したトルコチームの協力を許可するようにイスラエルへ要請し、また米政府は「イスラエルがガザへの人道支援を妨害したり制限することを許さない」ことを強調した。さらに、両氏はハマスとガザの抵抗勢力グループの武装解除計画の策定にも取り組む予定である。

*ハアレツ：イスラエルは、西岸地区のブリン村でオリーブ収穫に協力しているときに身柄拘束した外国人活動家32人を、明日、国外追放する。

*ネタニヤフ首相：戦争犯罪でICCから指名手配されているネタニヤフ首相は、ハマスの武装解除を含む停戦合意の第二段階が完了するまで、戦争は終わらないと言った。

10月18日 9:19pm

*ハマス：ハマスのハゼム・カセム報道官は、ガザ回廊の統治に関するいかなる行政協議にもハマスは参加する意思がないと言った。彼は、ガザ回廊の統治責任を担う地域支援委員会の設置に、ハマスが同意したと述べ、すべてのパレスチナ各派が合意する幅広い行政機関の設立に向けて、地域支援委員会設立を急ぐべきだと言った。カセムはガザの政府機関は職務を遂行し続けており、「空白を開けると危険である」と強調した。彼は、仲介者と停戦合意第二段階に関する協議を行っているが、第二段階は「複雑」だと表現し、重要課題について民族の統一的姿勢を形成するために努力していると述べた。

*アル・カッサム旅団：アル・カッサム旅団は、今日早朝に発掘したイスラエル人人質2人の遺体をイスラエルに引き渡すと発表した。

*ハマス：トゥバ作戦は、西岸地区での抵抗が「終わることも弱まることもない」ことを示すものだ。

10月18日 8:18pm

*パレスチナ・クロニクル：先日釈放されたアル・アウダ病院のアハメド・ムハンナ院長は、約2年間の抑留の悲惨な処遇を語った。彼は、イスラエル占領軍が医療従事者を意図的に標的にし、被拘留者に残酷な虐待をしていると非難した。

10月18日 7:35pm

*ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府メディア・オフィスは、ネタニヤフ首相が停戦合意の履行を妨害し、国境通路の閉鎖と食糧搬入を阻止し続けていると非難し、仲介者に対してイスラエルに合意義務を履行するように働きかけることを求めた。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、追って通知するまでラファ・クロッシングを閉鎖せよと指示した。彼は、ハマスが人質の遺体返還の約束を果たすまで再開しないと行った。

*イスラエル・メディア：西岸地区北部のトゥバで抵抗勢力がイスラエル軍に爆発物を投げつけ、少なくとも2人の兵士が負傷した。

10月18日 7:32pm

*ハアレツ：イスラエルのレストラン・チェーン「ショウク」は、BDS運動の高まりを受け、ワシントンD.C.の全店舗を閉めた。

*ガザ政府メディア・オフィス：イスラエル占領軍は、停戦発効後も、銃撃、爆撃、民間人逮捕など47件の停戦違反を行った。戦車、ドローン、その他の軍事装備を使って、ガザ回廊全域で行ったことが記録されている。

*ガザ保健省：停戦発効以降、イスラエル軍によって殺害されたパレスチナ人は29人となった。このうち23人は瓦礫の下から発掘した遺体で、2人は負傷が悪化して死亡、4人はイスラエル軍の直接攻撃による死亡者。また、この48時間で143人のパレスチナ人が負傷した。これで、2023年10月7日以降の犠牲者は、死者68、116人、負傷者170、200人となった。

10月18日 7:29pm

*パレスチナ・クロニクル：国連人道調整官トム・フレッチャーは、アル・アラビーTVのインタビューで、ガザを「荒地」と表現し、2年間にわたるイスラエルの破壊で、基本的行政サービスの回復は「途方もない仕事」になると言った。

10月18日 3:11pm

訳注1：今朝西岸地区トゥバでイスラエル軍に爆発物を投げて、2人を負傷させた。

*パレスチナ・メディア：ガザ人権センターは、イスラエル占領軍のガザへの「流血の攻撃」の継続を強く非難した。直近の攻撃では、自宅を見に行った家族車両を攻撃して11人を殺害した。人権センターはこの攻撃を、10月10日に発効した停戦合意の「露骨で意図的な違反」と述べ、イスラエルは「停戦なんか存在しないかのように」振る舞っていると述べた。

*ガザ保健省：保健省は、今日、イスラエルから赤十字を通じてパレスチナ人囚人の遺体15体を受け取ったと発表した。これで引き渡された遺体は135体となったと述べた。

10月18日 2:50 pm

*パレスチナ・クロニクル：米連邦判事は、昨日、イスラエルのスパイウェア会社NSOグループにたいし、WhatsAppとそのユーザーを再び標的にすることを禁じる恒久的差し止め命令を出した。

10月18日 2:29 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル刑務所に収容されているパレスチナ人医療従事者の家族が、今日、ガザ回廊南部で抗議活動を行い、約2年間にわたる過酷な拘禁環境の中にいる親族の釈放を求めた。保健省も参加し、ナセル総合病院で開かれた集会では、拘束されている医師、看護師、医療従事者の写真や横断幕が掲げられた。ガザ政府メディア・オフィスによると、イスラエルは2年間のジェノサイドの間に362人の医療従事者を拉致した。その中には医師88人、看護師132人、医療助手72人、医療部門事務職員47人が含まれている。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告によると、今朝ガザ市の各地から14人のパレスチナ人の遺体が発掘された。

*カン：イスラエル政府高官の話では、J. D. ヴァンス米副大統領とスティーヴン・ウィットコフ特使が来週イスラエル訪問する予定である。この訪問は、トランプ大統領のガザ停戦計画を促進することを目的としている。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ社会開発省のリヤド・アル・ビタール次官補は、ガザには少なくとも5つの孤児養護施設と、孤児と介護者への緊急的財政支援が必要だと言った。彼は、アル・ジャジーラのインタビューで、戦前には17,000人の孤児がいたが、イスラエルのジェノサイドで孤児の数は3倍増、57,000人となったと説明した。戦争で片親または両親を亡くした子どもは40,000人で、中には家族全部を亡くして自分だけが生き残った子どももいると、彼は言った。

10月18日 2:25 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルのガザ戦争で孤児の数は3倍増の推定57,000人となったと、ガザの政府高官が言った。

10月18日 1:18 pm

*ガザ市民防衛団：木曜日にガザ市ザイトゥーン地区の避難民を標的にしたイスラエルの空爆の跡地から9人の遺体を回収した。

*アル・ジャジーラ：イスラエルは、前に合意したにもかかわらず、ガザへの人道援助物資の搬入をわざと遅らせている。アル・ジャジーラ特派員のアシュラフ・アブ・アムラは、ラファの東のキスフィム・クロッシングでは空のトラックが止められたままで、食料の積み込みに戻ることができないと報じた。

10月18日 12:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：捕虜交換合意で釈放されたパレスチナ人囚人の中のナデル・サダカという複雑な重要人物に注目が集まっている²。

*エル・パイス（スペイン紙）：赤十字国際委員会のイアン・マクレラン事務局長はエル・パイスに対して、ガザ全域の破壊の規模が大きいのので、遺体発掘と発掘された遺体の身元確認が非常に困難だと述べた。彼は、国境通路（クロッシング）を開き、ガザ住民に人道支援物資が届くようにすべきだと求めた。

訳注2：サダカはPFLP 戦士のユダヤ教徒サマリア人。サマリア人は世界で最も少ない少数民族と言われ、自分たちこそ古代イスラエルの子孫であると主張している。

*アル・ジャジーラ：イスラエル人質の遺体搜索のための発掘作業がハーン・ユーニスで続いている。現場を取材したアル・ジャジーラ特派員のハニ・アッシャエルの記事では、発掘作業は機材不足のために限られた能力で行われているため、かなり難航している。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員の報告によると、イスラエルから返還されるパレスチナ人囚人の遺体4回目を受け取るために赤十字車両がキスフィム・クロッシングに到着した。

10月18日 12:04 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザのアル・アクサ大学の准教授ハイダル・エイド著の18年間の随筆集『タンクの壁を叩く』(Banging on the Walls of the Tank)³の書評。「最初に、この書評は、私の最愛の友人のハイダル・エイドがガザ・ジェノサイドの背景を描いた著書についてであることを述べておきます。私たちはどこへ行っても幽霊現象(存在の不在)に遭遇します、ジェノサイドの渦中においてハイダル・エイドは別の視点を私たちに提示します。『私はそこにいるけれど、そこにいないのだ』と。」[ナディラ・オマルジーの書評](#)を読みたい。

10月18日 11:50 am

*パレスチナ・クロニクル：ハマスはトランプ米大統領と仲介者に、イスラエル軍がガザ市のザイトゥーン地区のアブ・シャアバン一家の11人を殺害した、民間人に対する意図的な虐殺に対するイスラエルの責任追及を求めた。

10月18日 11:30 am

*国連：国連人道問題担当事務次長はアル・ジャジーラに対し、ガザ回廊の破壊規模は「信じられないほど」で、「すべてが破壊された」と言った。彼は60日間の復興計画を説明した。まず、援助物資のガザ入域の許可を確立し、パン、テント、衛生設備を提供し、病院と学校の運営再開に取り組むと言った。「ガザへのクロッシングすべてが開かれる必要がある」と彼は述べ、数千台のトラックが必要で、それらが入域すると目に見える変化が生まれるだろうと言った。私たちの現在の責任は非常に大きい」と最後に言った。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ人フリーランスの報道写真家のアシュラフ・アブ・アムラは、キスフィム・クロッシング付近でガザへ向かう援助物資トラックの移動が増加していると報じた。

*アル・ジャジーラ：ガザ市医療救済協会の会長は、負傷して手術を必要としている人が17万人以上いるが、医療機器の不足でどうにもできないと言った。彼は、3月2日からイスラエルはガザへのクロッシングを完全閉鎖し、食料、医薬品、その他の生活必需品の搬入を遮断、制限してきたと言った。イスラエルが残り的人質遺体の返還遅滞を口実にして、ラファ・クロッシングを閉鎖しているので、数千台の援助物資トラックがラファ・クロッシングのエジプト側で立往生している。

10月18日 10:37 am

*UNRWA：UNRWAは8000人以上の教員がガザの子どもたちを学習の場に戻して、教育を再開する用意ができていると発表した。UNRWAは、「我々はガザ回廊で最大の人道支援機関で、支障なく活動できることが必要だ」という声明を出した。

*チャンネル13：米軍がガザ回廊近くに司令センターを設置し、人質遺体を搜索する国際部隊を指揮する。

*ハマス声明：ガザ市ザイトゥーン地区で自分たちの家がどうなっているかを調べようとしていたアブ・シャアバン一家の車をイスラエル人が銃撃して、家族11人を殺害する虐殺を行った。我々はトランプ大統領と停戦仲介者に、停戦合意違反に関してイスラエルの責任を問うように求め、国際社会に対して、イスラエル指導者を戦争犯罪とジェノサイドで追訴するように求めた。これに先立ち、ガザ市民防衛団は、イスラエルが勝手に「イエローライン」と呼ぶラインを民間人車両が超えたとして、警告もしないで銃撃して、家族11人を殺害したと報告した。

*WFP：WFPはガザへの人道支援を妨害する主要障害を列挙した。

訳注3：ガッサン・カナファーニの短編小説『太陽の男たち』で、輸送車のタンクに隠れて外国へ出国して働きに出かけた男たちがタンクの中で熱射病で死亡、運転手が「何故壁を叩かなかったんだ」と言った。

*マアリブ紙：マアリブ紙の戦争に関する世論調査では、イスラエルは部分的な勝利しか達成していないと思うイスラエル人は46%、全面的に勝利したと思うイスラエル人は13%、まったく勝利なんかしていないと思うイスラエル人は35%であった。

*国連地雷対策局（MAS）：国連地雷対策局長は、停戦後のガザで不発弾の危険が高まっており、長い時間がかかるが、除去作業は、徐々に日常生活を回復させるうえで非常に大切だと言った。

*ガザ市民防衛団：ガザ市の自宅へ戻ろうとした家族11人がイスラエル軍に殺害された。

*ハマス：ガザ市ザイトゥーン地区のアブ・シャアバン一家をイスラエル軍が攻撃して、11人を虐殺した。これは民間人を標的にした「計画的な犯罪」である。

10月17日 11:42 pm

*イスラエル軍：赤十字がガザ回廊南部でイスラエル人人質の遺体を受け取りに向かっている。

*WAF A：ハーン・ユニス東のアバサン・アル・カビーラの町でイスラエル占領軍の無人機が住民に向けて発砲し、女性が1人負傷した。

*アル・カッサム旅団：我々は今日早朝発掘したイスラエル人捕虜の遺体を、現地時間午後11時に引き渡す。

*カン：米国中央軍（CENTCOM）のブラッド・クーパー司令官が、ガザ停戦メカニズムの促進に参加するため、イスラエルを訪問する。

*イスラエル・メディア：イスラエル治安諸機関が今夜引き渡される人質遺体を受け入れる準備を進めている。

*イスラエル・メディア：伝え聞くとところによると、イスラエル軍と治安諸機関はガザ戦争再開を勧告しないで、代替手段でハマ스에 圧力をかけることを勧告した。

10月17日 8:28 pm

*パレスチナ・クロニクル：米国で、マサチューセッツ州選出上院議員選挙に出馬する民主党のセス・モールトンは、AIPAC（米国イスラエル公共問題委員会）からの寄付を返還し、今後AIPACからの寄付を受けないと宣言した。

*カン：ネタニヤフ首相は来年11月の総選挙期日を6月に前倒しすることを検討している。

*カン：米政府はイスラエルに停戦違反をしないように求め、人質遺体問題に関しては仲介者に時間的猶予を伝えるようにと要望した。

10月17日 8:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：2年間にわたるガザ・ジェノサイドで、バルセロナはパレスチナ人の闘争に対して政治的・社会的支援と、イスラエル批判をますます強めた。[ジョン・マコーリーのバルセロナからの報告](#)を読みたい。

*アクシオス：スティーヴン・ウィトコフ特使は、ガザ停戦・復興合意の履行状態を見るために、日曜日に中東訪問する予定。

10月17日 7:40 pm

*パレスチナ・クロニクル：ムフタール、あるいは「ムフタール族のムフタール」⁴は、ガザ回廊で最大の部族評議会であるパレスチナ部族高等委員会の長で、彼は抵抗勢力治安部隊のイスラエル協力者ギャングの取り締まりを擁護・支援している

訳注4：「ムフタール」は「選ばれた者」、つまり「代表」を意味する。